

テーマプロジェクト研究

平成 28 年度

担当教員： 松尾博文
matsuoh@kobe-u.ac.jp

I. 授業のテーマと目標

プロジェクト方式の教育として、1 年次前期にケースプロジェクト研究、後期にこのテーマプロジェクト研究、それと並行して、専門職学論文作成に係る現代経営学演習を行い、2 年次前期には、専門職学位論文の作成に専念することとなります。この一連の research-based education を通じて、企業の中核的人材が持つべき事業観、人間観、洞察力、行動力、企業家精神を自発的に学習します。ケースプロジェクト研究とテーマプロジェクト研究では、異業種或いは異なった経験を持つ同期生とのグループ学習、経営者等とのインタビューを通じて、グループダイナミクス、論理的構成力、文章力、発表能力についても研鑽することになります。

テーマプロジェクト研究は、ケースプロジェクト研究で学んだグループ研究を遂行するノウハウを基に、さらに高度な取り組みをします。ケースプロジェクト研究では、テーマ、チーム構成、対象企業は担当教員が設定して、一つの現象に対する解釈、主張、または切り口という意味での「ケース」を構成することにより、戦略を構想する能力を養成しました。一方、テーマプロジェクト研究は、職務上直面する課題、或いは、問題意識を教室に持ち寄って、一緒に考える一つの方策として、学生が自己組織化するチームで、自主的に研究課題を設定し、選んだ問題を多角的に検討し、その本質に迫るものとします。

テーマプロジェクト研究では、職務上直面する企業・社会にとってインパクトのある、何故、如何にというような問いからなる研究課題について、暫定的な仮説を形成し、3 つ以上の企業について、インタビューを含むケーススタディを行うこと、さらに、インタビュー結果、2 次データ、既存研究を論拠として、仮説を検証することが要求されています。仮説形成、検証、仮説改訂のサイクルを繰り返すことによって、最終的には研究課題に対して説得力のある仮説を提示してください。研究チームは 5～6 人を目安に自主的に作ってください。4 人或いは 7 人によるグループも可とします。

II. 教科書・参考書

特になし。ケースプロジェクト研究の教科書・参考書と資料を随時、参照してください。

III. 授業内容の要旨と授業計画

8月20日(土) 13:20-18:30 (アカデミア-504教室)	オリエンテーション：テーマプロジェクト研究の説明
9月17日(土) 13:20-18:30 (アカデミア-504教室)	プロジェクトチーム、研究テーマ、リサーチクエスションの発表、承認
10月8日(土) 18:50-20:20 (アカデミア-504教室)	研究課題、主要文献（研究課題に関係する理論、命題を扱った3つ以上の主要文献）、仮説とケース企業名の提出と発表
11月19日(土) 8:50-18:00 (本館-306 教室)	中間報告会（少なくとも2つのケースインタビューを終えていること）
1月7日(土) 8:50-18:00 (アカデミア-504 教室)	研究成果発表会

IV. 成績評価の方法

1 月 7 日に予定している研究成果発表と 1 月 21 日に提出していただく個人内省レポートを評価します。最終評価における重み付けは、研究成果発表が 50%、個人内省レポートが 50%です。

V. テーマプロジェクト研究で要求されていること

プロジェクトチーム： 5～6人を目安に自己編成すること。4人或いは7人によるグループも可とする。

研究課題： 研究課題とは、研究で明らかにする問いのこと。単に、現状がどうなっているかというような調査研究は好ましくなく、何故、如何にというような問いを課題とすること。研究のための研究というようなものではなく、企業経営にインパクトのある課題を設定すること。また、「職務上直面する課題を教室に持ち寄って、一緒に考える一つの方策として」テーマプロジェクト研究を位置づけしているのも、チームメンバーにとって、事前知識のない課題は相応しくなく、また、最終的な達成度も低くなります。

仮説： 研究課題の問いへの答えに対応する因果関係の特定。関係する既存研究の命題を基に構築する。探求的な研究ですので、仮説は研究の進行にしたがって、随時改訂してください。

主要文献： 研究課題に関係する理論、命題を扱った主要な論文を3つ以上見つけること。

研究方法： 3つ以上の企業について、ケースプロジェクト研究で行ったようなインタビューを含むケーススタディを行うこと。インタビュー結果、2次データ、既存研究を論拠として、仮説における因果関係を説得力をもってサポートすること。ケーススタディを主たる論拠とすること。説得力のある議論を展開するためには、ケース自体にある程度語らせることが必要となるので、特異な、或いは、印象に残るケース対象を選択することが肝要。人が登場するケースの説得力は高くなります。

中間発表： 中間発表までには、少なくとも2つのケースインタビューを終えていること。

現代経営学演習との関係： テーマプロジェクト研究の課題とチーム編成を修士論文のゼミのもの過度に関係づけようとする、テーマプロジェクト研究はうまく進みません。インパクトの高いテーマ、最強のチーム編成に心がけてください。修士論文では、非常に厳密な研究が求められます。一方、テーマプロジェクト研究は、ケーススタディですので、厳密さよりは、説得力と論理性が求められています。テーマプロジェクト研究の課題設定では、少し、背伸びをして、インパクトを狙ってください。

VI. テーマプロジェクト研究のスケジュール

8月20日(土) 13:20-18:30

テーマプロジェクト研究の目的とルールの確認を行います。それらはこのシラバスに記述されていますので、ケースプロジェクト研究の終了時点で、チーム編成と研究課題の設定を始めてください。この日の授業時間中にチーム編成と暫定的な研究課題をブレークアップして決定してもらいます。各学生は、チーム編成と研究課題について、授業に来る前に最終決定しておく必要はありませんが、この日のうちに決定できるように事前に準備をしておいてください。

9月17日(土) 13:20-18:30

グループ毎に、チームメンバー、研究課題、リサーチクエスチョン、主要文献を1ページ程度で記述したものを提出し、発表していただきます。リサーチクエスチョンとは、ここでは、研究課題よりさらに詳細、具体的な問いのこととします。

10月8日(土) 18:50-20:20

グループ毎に、研究課題、主要文献（研究課題に関係する理論、命題を扱った3つ以上の主要文献）、仮説とケース企業名を2ページ程度で記述したものを提出し、発表していただきます。

11月19日(土) 13:20-21:15

中間発表会を行います。この日までに、少なくとも2つのケースインタビューを終えているようにしてください。MBAフェローに参加していただいて、中間報告についての、フィードバックと評価をいただきます。発表時間は12分とします。

1月7日(土) 8:50-18:00

研究成果発表会を行います。発表時間は20分とします。